



2 0 2 0 **NASUKARASUYAMA** 市 勢 要 覽

那須 烏山

発行：那須烏山市

新たな歴史を刻むため 未来への道のりをみんなと共に

那須烏山市長

川俣純子

Junko Kawamata

平成の大合併によって誕生した那須烏山市。那須連山を望む私たちの郷土は、那珂川と同水系の大小河川が貫流し、東部に那珂川自然公園が、西部には関東平野がひらけ、豊かな自然に恵まれた美しい大地が広がっています。

さかのぼれば、およそ1千万年前に海底だったこの地には、海生生物の化石を身近に見ることができ、荒川沿いでは「オオガネクジラ」が発見されるなど、学術的にも注目されています。

また、いにしえから人々の生活が営まれた痕跡が遺跡として各地に残され、古代の官道や役所跡である国史跡「長者ヶ平官衙遺跡（ながが）附東山道跡」、そして、県内屈指の山城として貴重な「烏山城跡」など数多くの文化資源を有しています。

なかでも、450年余りの歴史と伝統を誇る移動式野外劇をメインとした国指定重要無形民俗文化財の「烏山の山あげ行事」は、先ごろユネスコ無形文化遺産にも登録され、国内外の多くの方々に一度はご覧いただきたい真夏の風物詩です。

JR烏山線の蓄電池駆動列車「アキユム」が、



のどかな田園地帯を縫うように走る那須烏山市は、古くから城下町として栄え、豊かな自然資源を生かした農林水産業が生活に潤いをもたらしてきました。また、日本経済が安定成長期に移行したころからは、近隣の大規模工業団地の関連企業が立地し、農商工バランスの取れた発展を遂げました。

しかし、近年、日本全体が少子高齢化を伴う人口減少社会を迎え、地方の活力低下が懸念されています。また、IoTや人工知能などによる第4次産業革命の進展に伴い、急激な社会経済環境の変化に直面しています。

このような大転換期のただなかにあつて、那須烏山市では、先人から延々と伝え守られてきた豊かな自然環境や数多くの文化遺産、そして、時代の変化に応じて発展してきた各種産業をもとに、総合計画の基本理念に掲げる「みんなの知恵と協働による『ひかり輝く』まちづくり」を進めてまいります。

歴史は、時々刻々と天地に刻まれていきます。この「2020那須烏山市勢要覧」を手にも、本市の魅力を知っていただき、新たな歴史を刻んでいくために、未来への道のりを一緒に考えていただけたら幸いです。

目次

市長あいさつ	1
那須烏山市の概要	3
山あげ祭	5
遊ぶ	7
伝える	9
暮らす	11
学ぶ	13
まちづくりの指針	15
第2次総合計画の 基本構成	16
基本目標①②	17
基本目標③④	18
基本目標⑤	19
那須烏山市のあゆみ	20
ガイドマップ	21
市政・友好交流	23
議会	23
那須烏山市民の歌	24

Contents

Nasukarasuyama

■市章



山とお日様のイメージは、恵まれた自然環境と温かい人との触れ合いを表現しています。上部の3つの点は、その中で豊かな生活を営む知恵を表しています。

【平成17年10月制定】

■那須烏山市の概要

平成17年10月1日、那須郡南那須町と同郡烏山町が合併して誕生した那須烏山市は、栃木県の東部に位置し、首都圏150km圏内、県都宇都宮市から東に30~35kmの距離にあります。市域は、東西、南北とも20km弱で、総面積は174.35km²。西側を高根沢町、北側はさくら市と那珂川町、南側は市貝町と茂木町、東側は茨城県常陸大宮市に隣接する自然豊かな地方都市です。

地勢は、八溝山系に属し、清流那珂川が南北に貫流し、右岸の丘陵地帯を縫うように荒川や江川などの大小河川が貫流しています。この地帯に南那須市街地、烏山市街地が形成され、那珂川左岸は、八溝山系の山間地帯となっており、県立那珂川自然公園に指定されています。

気候は、夏暑く、冬寒い内陸型気候ですが、冬季の積雪はほとんどなく、生活しやすい地域です。

合併当時の人口は、31,152人、世帯数9,680世帯でしたが、その後、人口減少と少子高齢化が続き、平成27年10月現在は、人口27,047人、世帯数9,439世帯となっています。

□位置 住所：中央1丁目1番地1号

東経：140度9分 北緯：36度39分 海拔：100.7m

■交通アクセス

道路は、国道293号が北部を東西に、国道294号は那珂川に沿うように南北に走っています。また、中央部は、主要地方道宇都宮那須烏山線が横断し、栃木県東部における交通の要所となっています。高速自動車道路までのアクセスでは、東北自動車道、北関東自動車道、常磐自動車道の各インターチェンジまで約50分を要します。

鉄道は、JR烏山線が東西に走り、宇都宮駅まで約1時間で接続しています。



Welcome to

■市の木：けやき



「けやき」は、樹形が美しく屋敷林や並木などとして市内に数多く植林されており、親しみがありません。また、20~30cmに達する巨木となり、樹相は重厚で、那須烏山市が未来に向かって伸びる力、発展する力を表しています。

【平成19年10月制定】

■市の花：こぶし



「こぶし」は、ここを適地に自生し、早春に純白の花を咲かせます。つぼみが子どものにぎりこぶしに似ているのが花名の由来ともいわれ、天に向かう力強い樹形は、子どもの健やかな姿を願う市民の心を表しています。

【平成19年10月制定】

■市の鳥：からす



「からす」は、市名また烏山城の由来等にもなっており、知能が高く人に良くなつく鳥です。また、逸話の中では、太陽の中に棲むともいわれており、未来に向けて限りなく発展する姿と平和を表しています。

【平成19年10月制定】

■市の魚：あゆ



「あゆ」は、清流に棲み清楚な色・形・独特の香気と味の良さがあり、日本の名魚とされています。特に、那珂川、荒川のあゆは、天然遡上として全国的に有名です。いつまでも愛され親しまれる「あゆ」は、市を代表する魚です。

【平成19年10月制定】

■イメージキャラクター【平成25年1月決定】

- ここなす姫 市の鳥「からす」をモチーフに、市の花「こぶし」を髪飾りにし、山あげ祭を表現した着物を着たお姫様です。(写真中央)
- からすまる 緑豊かな山々と清流那珂川・荒川をイメージした着物と袴をまとった「からす」の侍です。(写真右)
- やまどん 「こぶし」のちょんまげと「あゆ」の刀を持ち、からすまる同様に緑の山々や清流をイメージした着物で姫を守る不思議な侍です。(写真左)
- 3体の名前を合わせると「ここなす からす やま」⇒「ここ那須烏山」となります。



■キャッチフレーズ

【令和2年3月決定】



市内の清流や緑豊かな自然、烏山の山あげ行事に代表される伝統文化、八溝そば、中山かぼちゃんなどの食資源…見て、聞いて、食べて、触って、香りで楽しむ数々の魅力を表現しています。

ユネスコ無形文化遺産
国指定重要無形民俗文化財

「烏山の山あげ行事」

山あげ祭

なんだ、
高さ10m、奥行き100m
圧巻の「山」があがる



日本一の移動式野外劇

那須烏山市を代表する夏の風物詩「烏山の山あげ行事」は、四五〇年以上の歴史を誇る日本一の移動式野外劇。その踊りの舞台背景となるのが、道路上約100mにわたり据えられる高さ10mを超える「はりか山」です。はりか山は、竹を網代状に組んだ枠に烏山和紙を幾重にも張り付け、山水を描いたもので、これを人力であげる事から「山あげ」と呼ばれるようになりました。

旧烏山市街地の六町が毎年順に当番を担い、祭りの当日は、当番町の若衆が座敷、橋波館、中山、大山等を瞬間に設置し、様々な仕掛を操作し、公演を終えると解体して次の場所に移動する。絢爛豪華な踊りは勿論のこと、そんな若衆の一糸乱れぬ団体行動にも目を奪われます。

一五六〇年、時の烏山城主那須資胤が、牛頭天皇を八雲神社にお祀りし、疫病防除、五穀豊穰、天下泰平を祈願した際の奉納余興が起源とされ、毎年、七月の第四土曜日を中日として三日間にわたり繰り広げられます。

昭和五十四年には、国の重要無形民俗文化財に指定され、平成二十八年には、全国三十三の祭礼行事とともに「山・鉾・屋台行事」としてユネスコ無形文化遺産に登録されました。



木頭の合図で若衆が10mを超える大山をあげる姿も見どころ



他の町で余興を行うことを「訪問」といい、金棒曳の子どもたちを中心に「しきたり」に従って移動します



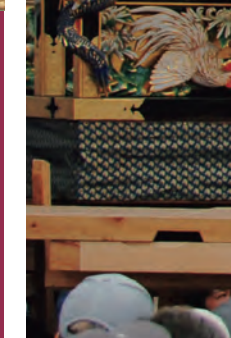
①妖艶さを増す夜の公演。ライトアップされた背景の山も見もの
 ②お神輿は、出御祭、渡御祭、還御祭に繰り出されます。写真は渡御祭
 ③開演時には道路いっぱいの観客が詰めかける



④総勢100名を優に超える当番町の記念写真は圧巻だ
 ⑤子どもたちによる歌舞伎舞踊「将門」
 ⑥大山の組み立て。公演ごとに山を組み立てては解体を繰り返す



⑦各町の屋台が集まって行われるお囃子の競演がブヌキ。リズムや音量、維持力が競われます
 ⑧演目「戻橋」的一幕で、鬼女が逃げ去っていくところ。後ろの電柱から、切り返しの「山」の高さがわかる
 ⑨太夫座敷で唄と三味線を披露する常磐津



Y A M A A G E



上段右から、「将門」の滝夜叉姫／解体した舞台装置を積み込んで移動する若衆／最終公演で披露される「関の扉」／時には若衆に交じって高校生の姿も。下段右から、見事な彫刻を施した屋台／軽快なお囃子を披露する子どもたち／館を設置する／舞台を縁の下で支える若衆



見てたえたつぷり
自然のフィールドで

遊ぶ



季節や時間帯で違った風景を見せる龍門の滝。滝のすぐ上をJR烏山線が走り、近くには、龍門ふるさと民芸館や大平寺など見どころが多い。ライトアップされた夜の滝は幻想的だ（写真右）



下右から、烏山和紙の製品を展示・販売する烏山和紙会館。烏山和紙の程村紙は、国の選択無形文化財に選ばれている。戦時中の戦車製造工場として掘られた洞窟を酒蔵が熟成庫として活用している。真夏でもひんやりしている。那珂川からの上昇気流がパラグライダーには絶好の地形となっている



オールシーズン遊び倒そうー！

あふれるほどの緑の中で…爽やかな水辺で…澄み渡った大空に向けてアウトドアを満喫する。情緒たつぷりの街並みをそぞろ歩く。四季の風景を楽しみながらランニングやウォーキング。収穫の喜びを味わい、太陽と大地の恵みを食べつくす。心も体も自由に、そんな欲張りな「遊び」を堪能できるのが那須烏山市です。

那珂川水系の清流と八溝山系の山々、歴史ある城下町と懐かしさを感じさせる里山…那須烏山市は、市内全域が遊びのフィールド。悠悠と流れる那珂川・荒川はアユ釣りとカヌーのメッカです。興野平群山からは色とりどりのパラグライダーが空中散歩を楽しみ、歴史ある風景が随所に見られる街なかを散歩すると思いがけないパワースポットに出会えます。一方で、昔懐かしい里山の風景が広がり、初夏にはホタルの乱舞が市内各地で見られます。

人と自然をつなぐこの街で、ここでしか出会えない景色や歴史・味覚を、春夏秋冬、それぞれの楽しみ方で自由に満喫しよう。



FRESH FRUITS & VEGETABLES

太陽と水と
大地の恵みを

食べる

豊かな自然と長い歴史は、さまざまな「食」を育ててきました。川魚や新鮮な農産物はもちろんのこと、城下町の名残で和菓子屋も数多くあります。特に、「あゆ」ともぎたて果物、そして地域ブランドの「八溝そば」、「中山かぼちゃ」はぜひ味わってほしい一品です。



みかん園

みかん園としては北限に近い国見のみかん園。味の濃さが魅力です



栗園

暖めるだけで皮がむける新品種のポロタンがおすすめです



八溝そば

八溝そばは、挽きたて、打ち立て、茹でたてがキホン



中山かぼちゃ

中山かぼちゃは希少種。アイスやプリンにも加工されています



ぶどう園

香り高く甘みが凝縮した巨峰やピオーネなど各種ぶどうを楽しめる



りんご園

みかん園とは反対に南限に近いのがりんご園です



あゆ

那珂川の名物あゆは、食べてよし、釣ってよし、やなで遊ぶのもよし



2



1



4



3

①土蔵造りの「萬さろん」では市内陶芸家の作品を展示・販売 ②名品スカイベリーも味わえる石川いちご園 ③嘉永2年創業の老舗蔵元「島崎酒造」 ④カヌーやカヤックを楽しめる



5

⑤「観光やな」ではあゆ料理を堪能できる



7



6

⑥山あげ祭を紹介する「山あげ会館」では、屋台を常時展示している ⑦龍門の滝に隣接する「龍門ふるさと民芸館」。展望台の天井には、見事な龍の水墨画が描かれている ⑧那珂川・荒川には県外から多くのあゆ釣りファンが訪れる



8



10

⑨「JR烏山線」大金駅前には、土産品や農産物などを販売する「ナスカラ市場」がある ⑩保健福祉センターでは「市民秋まつり」が開かれる



9

伝える

歴史的遺産の数々
四季の風景を未来に

郷愁漂う情景が、今なお息づく悠久のふるさと那須烏山市。先人から守り伝えられてきた豊かな自然と風土の中で、独特の文化や歴史が育まれてきました。

時の流れを感じさせる史跡、多彩な祭祀や民俗芸能、近代化を支えた文化遺産、そして、趣深い街並みや四季の彩をたたる里山、奥深く続く森、豊かな恵みを与える清らかな流れ…。伝統的な日本の文化を凝縮したような歴史的遺産の数々に懐かしさを感じる四季の風景は、これからも未来へと伝えられていきます。



■烏山城跡

「烏山城」は、応永25年に那須一族の沢村^{（すけむら）}五郎資重が築城したと言われる山城です。その後、城主の交代や幾多の変遷を繰り返しながら明治の廃城に至るまで威容を誇りました。

■長者ヶ平官衙遺跡附東山道跡—国史跡

米塚から炭化した焼米が発見され、地元に長者伝説が残る「長者ヶ平官衙遺跡」は、奈良から平安期の役所の跡です。隣接する古代の幹線道路「東山道」とともに国史跡に指定されています。



■烏山和紙 程村紙— 国選択無形文化財

起源は奈良時代まで遡る烏山和紙。最盛期には1000軒ほどの和紙職人がいたそうですが、今は1軒のみが残っています。このうち程村紙は、厚紙の至宝といわれ国の選択無形文化財に選ばれています。



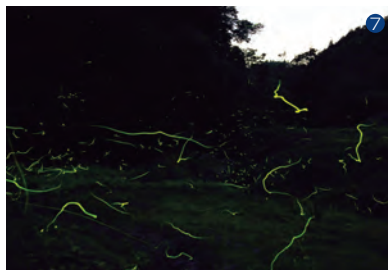
■近代化遺産

幕末から昭和戦前期にかけて造られた欧米の技術・文化による建造物。市内には、「境橋」や「東京動力機械製造株式会社地下工場跡（どうくつ酒蔵）」「大谷石造り倉庫」など現在16件の近代化遺産が確認され、市の歴史や文化に触れることができる貴重な遺産となっています。写真は、早春の境橋。



■ジオパーク

ジオ（地球・大地）とパーク（公園）からきた造語で、市内全域をエリアにしたジオパーク構想を策定しています。かつて海底だった名残のオオガネクジラが発掘された荒川層群や絶滅危惧種シモツケコウホネの自生地、中生代の地層などの見どころをジオサイトとして紹介しています。



①夕焼けが那珂川を朱に染める ②絶滅危惧種シモツケコウホネの群生地で観察会 ③八幡太郎義家の伝説が残る八ヶ代「西山辰街道の大桜」 ④春も盛りになると市内は様々な花であふれる ⑤つつじの名所の一つが境地区の「花立峠」 ⑥早春に咲くカタクリの群生地。コブシとの花の競演が見事 ⑦6月からは幻想的なホタルの舞が見られる ⑧趣深い街並みには紅葉の名所が随所にある（泉溪寺） ⑨冬の川沿いには霧が発生し、国見峠の頂上付近からは眼下に雲海も広がる ⑩稲刈り後の水田にヒガンバナが彩を添える



■民俗芸能

上から、「三箇塙の天祭」は国選択無形民俗文化財に選ばれている／稻積神社で奉納される「下境佐々良獅子舞」／地域の催事で披露される「宮原八幡宮観世流太々神楽」／弁財天祭礼で奉納される「森田の獅子舞」／岩戸神話に基づく31番の舞がある「熊田太々神楽」／「興野ささら獅子舞」は険しい山道を登った先の日枝神社で舞われる



▲市民体験講座も盛ん



▲夏に真白なそば畑が広がる



▲新鮮野菜が売りの農産物直売所



▲基幹産業の農業を知って
もらうための幼児農業体験



遠からず近からず
ほど良いまちに

暮らす

京都宇都宮市まで1時間弱、首都圏にも遠からず近からず、都会の雑踏もなく不便さもない、そんなほど良いまちが那須烏山市です。基幹産業の農林業に加えて、城下町としての歴史を感じさせる商業、自動車関連企業などの内陸型工業を中心に調和の取れた産業の発展を遂げています。

都市環境は、社会構造の変化によって転換期を迎えています。このような中にあっても時代に即した快適に暮らせるまちづくりを進めています。特に、市民の足となる交通基盤では、基幹道路の整備と共に、JR烏山線を中心に公共バスとデマンド交通を使った公共交通体系の充実が図られています。

そして、急激に進展する少子高齢化に伴い、子どもからお年寄りまで切れ目のない保健・福祉体制の整備と那須南病院を中心とした医療の確保など、那須烏山市ならではの安心・安全のまちづくりが進められています。



▲JA那須南で市特産の梨の選果風景



上から/市街地は、生活用品がそろうスーパーのほか、城下町の歴史を感じる菓子店や小売店も残されている/自動車関連企業を中心に各種企業が立地する



右から/様々なメニューがそろう健康づくり講座は好評/中学生が命の尊さと生きる喜びを体験できる子育て教室/介護予防と生きがいづくりに市独自の「ふれあいの里」





①②③④公共交通の要となるJR烏山線。鴻野山、大金、小埜、滝、烏山の5駅を拠点にコミュニティバスやデマンド交通による公共交通体系を築く ⑤⑥都市基盤の整備の中でもレジャーや物流など市民生活・経済活動の根幹となる道路の整備は着々と進められる ⑦市民生活に欠かせない上下水道施設は安全性の確保と共に健全経営に努めている(小学生の水道施設見学) ⑧近年急増する大規模災害で大きな役割を果たすのが地域の消防団員(消防団の点検風景) ⑨最新設備を備えた消防署は平成26年にオープン



右は、地域医療の拠点となる那須南病院／左は、健康と福祉に関する団体が結集し、市民との交流の輪を広げる「健康福祉まつり」



夢を実現し、豊かな人生のため

学ぶ

まちづくりは人づくりから：そんな思いで那須烏山市は明日の地域を支える人材の育成に力を注いでいます。

子どもたち一人ひとりが夢の実現のため、幅広い知識と教養を身につけ、心身とも健全に成長できるよう、県内に先駆けて学校に空調設備を配備し、校舎の耐震化やICT機器を積極導入するなど、安心して学べる教育環境を整えています。また、教員の授業力を高めて児童・生徒の学力向上を目指すスーパーティーチャー育成事業、英語力向上と国際化に対応する人材育成のためALT配置の充実や中学生海外派遣事業など特色ある事業を展開しています。

健康で豊かな人生を送るための生涯学習では、芸術・文化活動やスポーツ活動など、幅広い世代の学習ニーズに応える事業を進めています。また、図書館は、単に本を貸し出すだけではなく、読解力や創造力を磨き、視野を広げる読書推進活動を展開しています。

誰もが「学ぶ」環境づくりは、未来の那須烏山市への私たちの贈り物です。



上／烏山中学校の授業風景
下／市民対象の自然観察会



学校給食センターが提供する栄養バランスのとれた給食。地場産の食材も使われ、子どもたちに好評。(江川小の給食風景)



右／国際化に対応した人材を育成するため、毎年、アメリカの姉妹都市メノモニー市に中学生を派遣している。(現地で日本文化を紹介する中学生たち)
下／郷土を知る教育も盛ん。酪農体験する烏山小学校児童(全国広報コンクール写真の部入選作品)



学校教育



左上／健やかな心身の育成のため学校におけるスポーツ活動(南那須中学校の体育祭風景)
左下／教員の授業力向上で児童生徒の学力向上を目指すスーパーティーチャー育成事業



上段右／身近な自然を観察する機会も豊富。
上段左／文化祭など活発な芸術文化活動の発表の場も多い。(市民の歌発表会風景)
右／子どもの本への関心を高めるため図書館で様々な活動が繰り広げられる。(おはなし会風景)



生涯学習

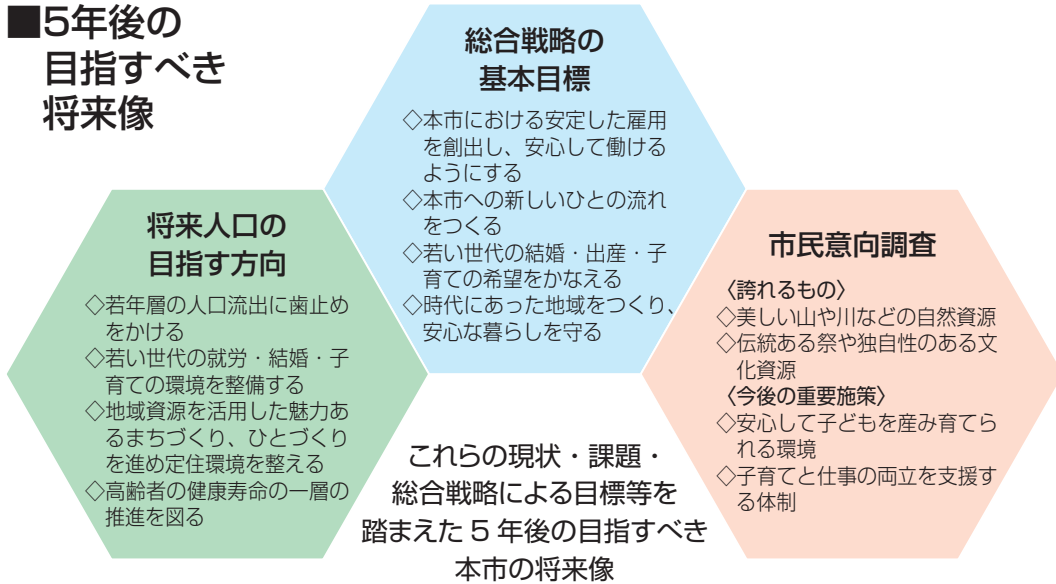


左上段及び下段左／市民1人1スポーツを目指して各種事業を展開。市の3大スポーツ行事は市民運動会・マラソン大会・駅伝競走大会
下段右／一新した武道館では、連日、各種武道の練習や大会が行われる

地域の魅力と活力にあふれる 暮らしやすいまち「那須烏山市」



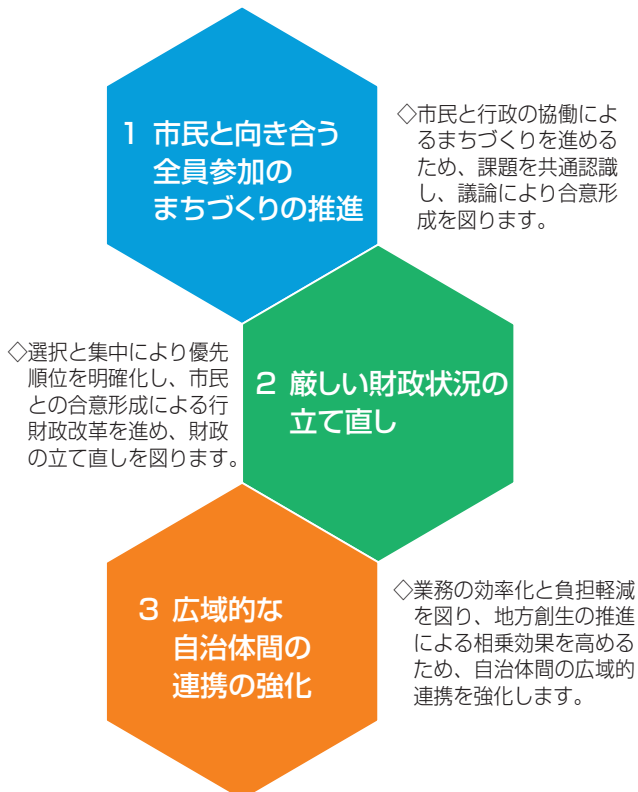
5年後の 目指すべき 将来像



地域の魅力と活力にあふれる 暮らしやすいまち「那須烏山市」

本市の豊かな自然環境、先代から受け継いだ伝統や歴史・文化資源等を活用し、本市の魅力を高め地域の活性化を図りながら、将来を担う心身ともに健やかな子どもの育成と市民一人ひとりが活躍できる環境づくりに取り組み、誰もが郷土への愛着と誇りを持ち続け「住みたいまち」「住み続けたいまち」として暮らしやすいまちを目指します。

事業展開の3つの柱



市では、人口減少や少子高齢化など急激な社会情勢の変化を踏まえ、市政運営の最上位計画となる「第2次総合計画」を平成30年3月に策定し、これを指針とした「まちづくり」を進めています。この計画では、複雑・多様化する地域課題や市民ニーズの多様化、長期的・総合的な視点で有効な施策をまとめた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を考慮して、5年後の目指すべき那須烏山市の将来像を「地域の魅力と活力にあふれる 暮らしやすいまち「那須烏山市」とし、その実現のために5つの分野ごとに基本目標を定めています。また、3つの柱に沿って政策・施策の事業展開を図っています。

■第2次総合計画の基本構成

計画の基本理念

みんなの知恵と協働による“ひかり輝く”まちづくり

－時代の潮流からみた本市の課題－

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1 少子高齢化・人口減少 | 5 地域産業・経済を取り巻く状況変化 |
| 2 市民との協働によるまちづくり | 6 安心安全なまちづくり |
| 3 安心して暮らせる地域づくり | 7 財政状況 |
| 4 地域資源を活用したまちづくり、ひとづくり | 8 老朽化の進む公共施設 |

基本指針

第1部 本市の将来像【基本構想】

まちの目指すべき姿：5年後の本市の目指すべき将来像

地域の魅力と活力にあふれる 暮らしやすいまち“那須烏山市”

－将来像実現のための基本目標－

- ① 安心できる子育てと健康な暮らしを支え合うまちづくり【健康・福祉分野】
- ② 夢を持ち、夢の実現に向けて歩む力をはぐくむまちづくり【教育・文化分野】
- ③ 地域資源の魅力創出と産業活力による賑わいあふれるまちづくり【経済産業分野】
- ④ 定住を促し安全で暮らしやすいまちづくり【住環境・都市基盤・防災・環境分野】
- ⑤ 市民と共に築く持続可能なまちづくり【協働・行政経営分野】

【将来の人口フレーム】

目標人口
2040年に18,000人
2060年に12,000人
程度を維持する

※目標人口は第2期人口ビジョンに基づく

- 将来都市構想
- 財政フレーム
- 公共施設等総合管理計画

第2部 将来像実現に向けた計画【基本計画】

政策

施策(=重点的取り組み)

実施計画

重点施策に関する事務事業

基本目標① 健康・福祉

安心できる子育てと 健康な暮らしを支え合うまちづくり

- ◇若い世代が結婚を前向きに捉えられる意識の醸成、妊娠期から子育て期に至るまでの各段階に応じた多様な支援など、切れ目なく提供していく体制の充実を図り、安心して暮らせるまちづくりを目指します。
- ◇医療・保健・福祉の総合的支援体制と地域全体で支え合う仕組みの充実を図り、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしく生きがいをもった暮らしができるまちづくりを目指します。

政策 1-1 結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実

政策 1-2 健康・保健・医療の充実

政策 1-3 障がい者・高齢者の福祉の充実

政策 1-4 地域福祉の充実



夢を持ち、夢の実現に向けて 歩む力をはぐくむまちづくり

- ◇学ぶことの意義を理解し意欲をもって幅広い知識と教養を身に付け、豊かな心やたくましくしなやかに生きるための健康、体力を身に付けた子どもの育成を目指します。
- ◇自己の人格を磨き、豊かな人生を送るため、文化的教養を高め、スポーツに親しみ、健康な市民の育成を目指す生涯学習社会の形成を目指します。

政策 2-1 学校教育の充実

政策 2-2 生涯学習の充実

政策 2-3 文化の振興

基本目標② 教育・文化



基本目標③
経済産業

地域資源の魅力創出と産業活力による 賑わいあふれるまちづくり

- ◇地域資源や立地の特性を活かした産業振興や安定した魅力ある雇用創出を図るとともにやりがいと充実感を感じることができるワーク・ライフ・バランスの実現に取り組み、活力による賑わいのあるまちづくりを目指します。
- ◇本市の豊かな自然と貴重な文化・歴史資源の魅力の発信を強化し、多くの人を惹きつけ賑わいのあるまちづくりを目指します。

政策 3-1 雇用の確保

政策 3-2 農林水産業の振興

政策 3-3 商工業の振興

政策 3-4 観光の振興



基本目標④
住環境・都市基盤・防災・環境

定住を促し安全で 暮らしやすいまちづくり

- ◇本市の魅力を最大限に引き出し、市内在住者が「住み続けたいまち」として、また、市外からは新たな定住の場として多くの人に訪れてもらい、豊かな自然や歴史・文化に触れ、他では味わうことのできない魅力により「住みたいまち」となるまちづくりを目指します。
- ◇時代に即した都市環境の形成や交通機能の充実、日々の生活の安全・安心の確保など暮らしの利便性を高めるまちづくりを目指します。
- ◇本市の豊かな自然環境の保全・活用を図るとともに、省エネルギーや3R等の推進により、環境に配慮したまちづくりを目指します。

政策 4-1 住環境の充実

政策 4-2 道路交通網の整備

政策 4-3 上下水道の整備

政策 4-4 地域情報化の推進

政策 4-5 消防・交通・防犯対策の推進

政策 4-6 自然・生活環境の保全



市民と共に築く 持続可能なまちづくり

- ◇地域や市民との協働を推進し、市民に開かれた行政経営のできるまちづくりを目指します。
- ◇多様な市民のニーズや時代の変化に対応するため、限られた資源や財源の中で、効率的な行政サービスを図り、持続可能で自立的な行政経営のできるまちづくりを目指します。

政策 5-1 市民の地域コミュニティ強化と協働のまちづくりの推進

政策 5-2 行財政改革の推進

政策 5-3 人材の育成・確保



⑤ ①平成17年10月、2町合併で那須烏山市誕生 ②平成19年には県立烏山高等学校が創立100周年を迎え、翌年、新生烏山高等学校開校 ③平成23年、八溝そば街道そばまつり初開催



④主要地方道宇都宮那須烏山線の高瀬トンネル開通 ⑤JR烏山線に蓄電池駆動列車が導入され、新旧列車が並ぶ ⑥大金駅前観光交流施設「ナスカラ市場」オープン ⑦平成28年、「烏山の山あげ行事」がユネスコ無形文化遺産に登録され、冬の山あげ初開催 ⑧平成29年、新武道館開館 ⑨平成30年、烏山城の築城600年を迎え、記念行事を開催

那須烏山市のあゆみ

2005年…平成17年

10月 那須烏山市誕生

12月 山あげ烏章館落成

12月 埼玉県和光市と災害時相互応援協定締結

2006年…平成18年

3月 熊田診療所落成

3月 境中学校閉校

4月 那須烏山市消防団結成

5月 那須烏山市体育協会設立

6月 那須烏山市文化協会及び国際交流協会設立

11月 東京都豊島区と災害時相互応援協定締結

12月 非核平和の市宣言

2007年…平成19年

3月 向田小学校・野上小学校閉校

6月 県立烏山女子高等学校創立80周年記念式典

9月 那須烏山市総合計画決定

10月 こども館オープン

10月 県立烏山高等学校創立百周年記念式典

2008年…平成20年

3月 東小学校・境小学校閉校

4月 新生県立烏山高等学校開校

4月 新境小学校開校

2009年…平成21年

1月 国道293号志烏バイパス開通

3月 興野小学校閉校

4月 すくすく保育園・烏山南公民館オープン

2010年…平成22年

3月 県立烏山女子高等学校閉校

12月 国道293号鹿子畑バイパス開通

2011年…平成23年

3月 東日本大震災発生

3月 境保育園・烏山幼稚園・宮原児童館・小木須児童館閉園

5月 東日本大震災の被災者に岩子仮設住宅設置

5月 第1回八溝そば街道そばまつり

7月 JR烏山線開業88周年記念式典

2012年…平成24年

3月 七合中学校閉校

5月 南那須B&G海洋センターリニューアル

8月 新学校給食センター開所

9月 大桶運動公園で栃木県総合防災訓練

10月 南那須地区にデマンド交通試験運行スタート

12月 主要地方道宇都宮那須烏山線に高瀬トンネル開通

2013年…平成25年

1月 イメージキャラクター決定

7月 JR烏山線開業90周年記念大屋台パレード

2014年…平成26年

3月 JR烏山線に蓄電池駆動列車アキム運行

3月 JR烏山線の烏山駅・大金駅に新駅舎落成

3月 那須烏山消防署竣工

10月 烏山地区にデマンド交通試験運行スタート

10月 ねんりんピック俳句交流大会開催

2015年…平成27年

3月 荒川中学校・下江川中学校閉校

4月 南那須中学校開校

4月 大金駅前観光交流施設「ナスカラ市場」オープン

2016年…平成28年

7月 防災サミットin那須烏山

11月 「烏山の山あげ行事」がユネスコ無形文化遺産に登録

2017年…平成29年

3月 JR烏山線気動車キハ40形引退

5月 那須烏山市武道館竣工

11月 山あげ俳句全国大会

2018年…平成30年

3月 第2次総合計画決定

4月 栃木ステイネーションキャンペーン

10月 那須烏山市秋まつり

10月 烏山城築城600年記念事業

2019年…平成31年(令和元年)

10月 新防災情報伝達システム運用開始

10月 東日本台風被害発生



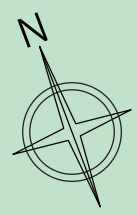
那須烏山市 ガイドマップ





さくら市

高根沢町



市政・友好交流

議会

■歴代市長

初代 大谷範雄 (平成17年11月7日～29年11月5日)
2代 川俣純子 (平成29年11月6日～在職中)

■歴代副市長

初代 山口孝夫 (平成18年1月1日～20年3月31日)
2代 石川英雄 (平成20年5月1日～24年3月31日)
3代 國井 豊 (平成25年2月1日～在職中)

■歴代教育長

初代 池澤 進 (平成17年10月1日～27年3月31日)
2代 田代和義 (平成27年4月1日～在職中)

■姉妹都市

○アメリカ合衆国ウイスコンシン州メノモニー市

平成3年に旧南那須町と姉妹都市を提携し、平成6年には教育友好関係を樹立。合併後も継続して、中学生海外派遣などグローバルな人づくりを進めています。

■友好都市

○東京都豊島区

旧南那須町が平成16年に非常災害時相互応援協定を締結し、合併後も継続しています。

○埼玉県和光市

旧烏山町が平成8年に災害時相互応援協定を締結し、合併後も継続しています。

■包括連携・友好協定

- ・国立大学法人宇都宮大学 (平成17年)
- ・フタバ食品株式会社 (平成23年)
- ・株式会社NEZASホールディングス (平成28年)
- ・烏山信用金庫 (平成28年)
- ・株式会社栃木銀行 (平成28年)
- ・那須南農業協同組合 (平成28年)
- ・学校法人宇都宮学園文星芸術大学 (平成30年)

■歴代議長

初代 青木一夫 (平成17年10月12日～18年4月30日)
2代 小森幸雄 (平成18年5月2日～20年6月10日)
3代 水上正治 (平成20年6月10日～22年4月30日)
4代 滝田志孝 (平成22年5月6日～24年3月21日)
5代 中山五男 (平成24年3月21日～25年6月4日)
6代 佐藤雄次郎 (平成25年6月4日～26年4月30日)
7代 佐藤昇市 (平成26年5月8日～28年6月7日)
8代 渡辺健壽 (平成28年6月7日～30年4月30日)
9代 沼田邦彦 (平成30年5月8日～在職中)

■歴代副議長

初代 船山榮一 (平成17年10月12日～18年4月30日)
2代 水上正治 (平成18年5月2日～20年6月10日)
3代 五味洵親勇 (平成20年6月10日～20年11月14日)
4代 大橋洋一 (平成20年12月2日～22年4月30日)
5代 平山 進 (平成22年5月6日～24年3月21日)
6代 高德正治 (平成24年3月21日～25年6月4日)
7代 佐藤昇市 (平成25年6月4日～26年4月30日)
8代 渡辺健壽 (平成26年5月8日～28年6月7日)
9代 久保居光一郎 (平成28年6月7日～30年4月30日)
10代 田島信二 (平成30年5月8日～在職中)

■議員定数の推移

- 35名 (平成17年10月1日～18年4月30日)
- 20名 (平成18年5月1日～22年4月30日)
- 18名 (平成22年5月1日～30年4月30日)
- 17名 (平成30年5月1日～)

■議会基本条例 (平成31年4月1日施行)

市議会は、その役割と議員の責務を明らかにし、議会の活性化による開かれた議会を実現し、市民福祉の向上と市政発展に寄与するため議会基本条例を制定しました。

那須烏山市民の歌

(平成26年10月26日制定)

作詞・南 ます子
補作詞・市歌制定委員会
作曲・荻野治子

一、八溝山地の山なみに

照る陽輝く空がある

大地目覚める朝がある

希望の光 みちみちて

みどり明るい風わたる

那須烏山 わがまちよ

二、流れ豊かな那珂川の

水がはぐくむ幸がある

実りあふれる旬がある

自然の恵み うけついで

励む笑顔の声はずむ

那須烏山 わがまちよ

三、祭りばやしの楽しさと

伸びる文化の華がある

明日へ飛躍の歌がある

新たな行く手 もりあげて

戸ごと灯りも 夢つむぐ

那須烏山 わがまちよ



右上／新緑の中を走るJR烏山線の蓄電池駆動列車アキュム
右下／長者伝説として語り継がれてきた国史跡「長者ヶ平官衙遺跡附東山道跡」の発掘風景
左上／ユネスコ無形文化遺産に登録された国指定重要無形民俗文化財「烏山の山あげ行事」
左下／四季折々の風景を堪能できる「龍門の滝」

2020 那須烏山市勢要覧

発行／令和2年3月 企画編集／那須烏山市総合政策課
〒321-0692 栃木県那須烏山市中央1丁目1番1号
TEL.0287-83-1112 FAX.0287-84-3788
<http://www.city.nasukarasuyama.lg.jp/>